

令和3年3月20日

保護者の皆様へ

クアラルンプール日本人学校  
校長 神田 哲

### 令和2年度 2学期学校教育アンケート集計結果と考察について

コロナ禍に伴い4月22日にオンライン学習がスタートし、分散登校、一斉登校へと対応して参りました。12月1日 2学期学校教育アンケートを Google フォームにて実施し、御協力いただきましたアンケートの集計及び結果の分析ができましたので、御報告いたします。

アンケートの全体回収率は、小学部 329/465件 70.8% 中学部 75/121件 62.0%で、保護者の皆様には、主にオンライン学習に関する評価をしていただきました。

本年度は、全18項目について5段階評価で実施しております。質問項目上部には各項目の肯定的評価【④よく出来ていた ③出来ていた】の合計%を表記しております。

今回の評価結果を真摯に受け止め、今後の学校経営並びに運営に生かして参ります。

#### 各質問項目について

(小中学部とも80%以上の評価項目)

4. 本校は、教育方針や教育活動を学校だよりや学年・学級だより、ホームページ等で伝えている。小 90.6% 中 88.9%

オンライン学習への取組及び対面学習の取組等 随時マレーシア政府及びマレーシア教育省発表を受けて、保護者様に連絡し周知徹底を図ることができました。

15. 本校は、子どもの事故防止、感染症予防に向けた安全指導を行い、安全な教育環境となっている。小 83.6% 中 88.0%

マレーシア教育省(MOE)発表のSOPに従い、学校安全マニュアルを再編成し、感染拡大に努めることが出来ました。今後とも御協力お願い致します。

16. 本校は、養護教諭や外部講師による保健指導や「ほけんだより」等で子どもたちへの健康の啓発に努めている。小 93.3% 中 92.0%

手書きの保健だより等を通じて、読みやすさを工夫し、健康意識の啓発を今後も図って参ります。

17. 本校のEC学習は、子どもたちが楽しく英語学習に取り組みながら、英語コミュニケーション能力の向上に努めている。小 83.3% 中 81.4%

ECコーディネーターを中心にEC学習指導方法、児童生徒のクラス分け判定試験等の導入により今後もEC学習の充実を図って参ります。

18. 本校は、パソコンやタブレットを活用し、ICT教育の充実に努めている。小 88.7% 中 92.0%

日本の文科省ギガ構想により、ICT機器及び使用ソフト等の充実を図ることができました。今後もICT環境整備に努めて参ります。

19. 本校は、臨時休校中にオンライン朝の会を実施することにより、教師と児童生徒間、児童生徒同士のコミュニケーションの場を設けることができていた。

小 86.0% 中 81.4%

長期にわたる休校措置により、児童生徒は友達との交流機会が大幅に減少し大きなストレスを抱えています。児童生徒会を通じてコミュニケーションの場を数多く設定し好ましい人間関係の充実を図って参ります。

【小中学部とも 80%未満の評価項目】

5. 本校は、子どもたちの様子について連絡帳や電話にて気軽に連絡を取りやすい。小 79.7% 中 73.39%

昨年度3学期より欠席については、HPよりフォームへの入力による連絡に変更させて頂きました。また今年度からは連絡帳を廃止致しました。フォーム連絡内容が確実に担任に伝わり情報の共有が図られているのか等についてご心配された方もおります。今後もより効果的な連絡方法について改善を図って参ります。

6. 本校は、子どもたちの学習や学校生活のこと、保護者の悩みを担任や他の教員、「子育て相談室」等に相談しやすい。小 74.7% 中 69.3%

中学部においては、生徒の自我意識が高まり保護者や進路問題を抱える傾向が強くなります。保健室、子育て相談室、特別支援教育相談室等の相談窓口を開設しています。これらの相談を通じてさらに相談しやすい環境を整備致します。

7. 本校は、学習内容の定着に努めている。小 78.7% 中 78.7%

特にオンライン学習時における学習内容定着度を図る方法及び繰り返し指導により学習内容の定着率向上に努めます。

8. 本校は、一人一人に応じたきめ細かい指導に努めている。小 61.7% 中 58.6%

対面授業、オンライン授業におけるそれぞれの授業方法の特性を生かし、更に個の発達状況に応じた指導を心掛けていきます。

9. 本校は、学習規律を身に付ける指導に努めている。小 76.9% 中 76.0%

対面授業及びオンライン学習時の学習規律項目を整理し、その徹底に努めて参ります。

10. 本校は、家庭と連携し、学習習慣を身に付けるために充実した家庭学習になるよう努めている。小 71.4% 中 65.3%

中学部においては学習支援オンライン資料を導入しました。これらも活用しながら家庭学習の充実に努めます。

12. 本校は、登校時のあいさつ運動や、毎月生活目標を立てる等、基本的な生活習慣や規範意識を身に付ける指導に努めている。小 74.2% 中 76.0%

対面授業数が少なく生活目標や基本的な生活習慣を十分に指導する機会も同様に減少しました。両学部朝会等を活用し、挨拶及び基本的な生活習慣の確立等を図って参ります。

13. 本校は、「生活アンケート」「心のもようアンケート」や「生活の記録」等により、子どもの思いや悩みを受け止め、適切に対応するよう努めている。

小 58.1% 中 70.7%

オンライン学習の機会が多くなり、児童は思いっきり体を動かす機会も減少し心的ストレスを持ちやすい状態になっています。保健室相談、子育て相談室等を活用し悩みに適切に対応する体制を整備致します。

14. 本校は、互いに認め合う集団づくりを行い、「いじめ防止基本方針」に沿って、いじめの未然防止・早期発見に努めている。小 59.5% 中 62.7%

休校措置期間が長期化したため集団づくりが滞り傾向にあります。児童会及び生徒会活動と連携を取りながら児童生徒の集団づくりを推進します。

【小中学部とも 80%以上、中学部 80%未満の評価項目】

11. 本校は、道徳科や日々の学校生活の中で、思いやりや協力することを大切にする心の教育に努めている。小 83.9% 中 70.6%

中学部においては、教育課程全体での道徳性を向上させてる機会を再度洗い出し、心の教育の充実に努めて参ります。

20. 本校は、臨時休校中のオンライン学習支援により、児童生徒に基礎基本となる学力が定着するよう努めていた。小 80.6% 中 73.3%

中学部においては学習支援ソフトを新たに導入し、オンライン学習の効率的な学習環境を今後も整えて参ります。

21. 本校は、臨時休校中に、オンライン保健室、相談室、個人面談の実施等により、子ども、保護者の思いや悩みを受け止め、適切に対応するよう努めていた。

小 82.1% 中 78.7%

中学部においては、朝の健康調査等への回答が減少傾向になります。中学部朝会及び学級 Googleclassroom 等を通じて参加を促すと共に、進学及び家族関係等の悩み相談を充実させて参ります。

自由記述について

- 英語、外国語活動、EC 授業の指導内容について
- オンライン学習における発言・発表の機会設定について
- 体育授業に関する指導内容について
  
- オンライン学習への集中力低下、学習習熟度への不安感
- オンライン学習における健康管理について（視力低下に関する心配）
- 国際結婚家庭：日本語力向上の取組要望
- 個別指導の設定
- 個人面談実施目的等に関する保護者通知の在り方について
- 小テスト実施、宿題量増加、週末時の課題提供の要望について
- 発達段階の応じた授業時間数基準について
- 児童生徒同士のコミュニケーションの場の設定要望
- 外国語授業レベルの向上要望
- オンライン授業での児童の発達状況・学習指導方法の向上
- 学習評価・評定への要望
- オンライン授業での保護者負担の実情について
- 評価・評定 フィードバックの迅速な対応
- 児童同士 コミュニケーション活動の場 設定
- 学級だより配信に関する要望
- 学力維持に関する要望
- 対面授業の要望
- アンケートに関する感想
- 児童に寄り添った授業指導について